

KSKQ

# 萌 風 香

2019年度 冬号

社会福祉法人萌 広報紙 NO.67. 2020.1.16 編集人 社会福祉法人萌 定価 150 円 〒630-0256 奈良県生駒市本町 7-14 ブルームビル 2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

誰もが生き活きと 自分らしく暮らせる 心豊かな社会を 創造します。

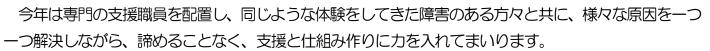
### 退院支援と訪問サービスに力点を! ~2020年 年頭所感~

皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えられたこととお慶び申 し上げます。

旧年中は多くのご支援、ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。 社会福祉法人萌は今年で 19 回目の春を迎えました。

今年は私どもの法人にとって、第3期中期計画の最終年となります。

目標の一つは、精神科病院に数十年にわたって入院している方たちの退院を支援し、退院後も安心して生活していける社会の仕組みを作ることです。この取り組みを始めて18年が経ちましたがなかなか思うように進みません。



もう一つの目標は、障害のある高齢者が安心して暮らせる仕組みを作ることです。高齢期を迎えた方た ちの生活は、その家族の高齢化の問題とも重なり、非常に複雑なものとなっています。

今年は、お一人お一人の事情に合わせたきめ細やかな支援ができるよう、ご自宅へ訪問するサービスを 充実させ、目標の達成にむけて努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 萌 理事長 吉川 郁子

### 『新しいスタート』

### ~春竣工に向け、えいぶるの建設進む~



待ち遠しい。完成イメージ図

「心と体を休める場所だから、新しくなるのが嬉しい」「製菓室では、特産物を使ったお菓子を作ろう」。利用者も職員も、 2020年春の竣工を心待ちにしています。

十年間温かく見守ってくださった地域を離れるのは寂しいですが、建設が決まった際には予定地の近隣の皆様から「やっとだね、よかったね」とありがたいお声かけをいただきました。

安心して、自分らしく活動できる場。それが家族の安心にも 繋がること。そして、地域の一部として活動する事業所。そん な「新えいぶる」を目指して、お菓子を試作したり、活動を見 直したりと準備を進めています。

#### 生駒エリア

生活支援センタ-コスモールいこま 0743-73-7000 地域活動支援センタ-コスモールいこま 0743-73-0900

ひだまり 0743-85-4196 コミュニティスペースはなな 0743-73-1050

#### 『ピアカフェ』オープン☆

生駒のピアサポートグループ「ピアスマイル いこま」主催のサロン(ピアカフェ)を 11 月



いろんな話で盛り上がり中!

く話す、情報交換

ができるサロンです。「誰も来なかったらどうしよう?」「たくさん来すぎたらどうしよう?」ワクワクと緊張で迎えたオープン。初めてのことで最初はドギマギ。でもすぐに、話がはずみ、あっという間に時間が過ぎました。

まずは4ヶ月ごとの開催を計画中。もっとお 互いに癒される場になっていけばいいなと思 っています。興味を持たれたらお気軽にのぞき にきてください♪

第2回『ピアカフェ』

日程:2020年3月8日(日)13時~16時半

場所: 生駒市コミュニティセンター(セイセイビル)

参加費:200円

対象:精神障害のある本人とその家族 (家族のみの参加はご遠慮ください)

### 『素敵な音楽と絵画で豊かな一日』



クリスマスソングに癒されて・・・

がい者後援会ひだまりクローバー」主催の啓発 イベントです。生駒市内各事業所で活動する利 用者の皆さんの演奏や朗読、体験談と、バイオ リニストの金関環さんによるクリスマスコン サートで約 200 人が楽しみました。

また、今回は夢村(村島光)さんの回顧展も同時開催し、33点もの様々な絵画を多くの方々に見てもらうことができました。彼は大阪から奈良へ転居され、しばらく生駒で活動されていました。このトーク&ライブのイベントでも受付横で似顔絵を描いてくださったこともあります。彼との思い出を共有する仲間に見てもらいご存命だったころの話に盛り上がりました。



いろんな絵画がお出迎え。

#### 生駒エリア3大ニュース

- ①エリア合同レクで USJ、海遊館に行った!②新しい職員着任!!
- ③どんどこまつり、ひだまり店前にて初出店!!!

#### ライク通信

なら西和障害者就業・生活支援センターライク 0743-85-7702

### 「経験を分かち合い、明日からの支援に活かします」

関西の障害者就業・生活支援センターが集まる近畿ブロック経験交流会議に行ってきました。 グループに分かれて支援における悩みや大切にしていることを共有する時間がありました。「企業への支援の中で本人の働きたい想いをどれだけ大事にするか」など話合いました。本人と企業が共に生き生きと働いていけるように一緒に考えることが大切であることを再確認しました。

#### ライク3大ニュース

- ①講演の依頼が多数!ライクのことを知ってもらう機会が増えた。②手すり整備!
- ③本年度異動者 松葉杖で着任

	郡山エリア	
生活支援センターふらっと	0743-54-8112 地域活動支援センターふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701 彩食キッチンBon	0743-58-5572
Bon Café	0743-55-7772	

### 治道地区防災訓練に参加

地域活動支援センターふらっとの利用者と 職員が11月24日(日)、大和郡山市治道地 区防災訓練に参加しました。

地域住民など 300 人が参加する訓練に、精神障害、身体障害(車椅子)、知的障害のある人たちや家族が参加。

避難所の治道小学校体育館に集まったあと、 仮設トイレの見学や救急救命訓練に。エコノミークラス症候群を防ぐための体操を行ったり、 アルファ米を調理し試食しました。

訓練後は、市の担当者から、障害者や家族からの視点でどのような印象を受けたか、意見聴取がありました。

参加者からは「体育館は人が多すぎ、障害当事者は落ち着かない人が多いだろう。別室を用意してほしい」「知的障害のある人が、親が目を離したすきに体育館の外に出ていた。車いす移動の援助も含め、もう少し見守ってくれる人がいてくれれば」など、意見を出しました。

防災訓練に実際参加し、障害者目線の意見を 伝えられる、貴重な機会となりました。



利用者も、担架づくりに挑戦!

### 2年ぶりのは一とふる市!



「はーとふる市」が2020年2月15日(土)に開催されます。

「はーとふる市」は市民団体「ハートフルこおりやま」が主催するイベントで"精神障害のある人が「安心して豊かに暮らせる街」こそが、障害のあるなしに関係なくすべての地域住民にとって住みやすい街になる"という思いで行われています。

当日は、萌の事業所の出店や当事者ステージ、 地元で活動している団体のハーモニカ演奏、バ ザーなどが行われます。

「はーとふる市」を通じて地域とのつながりがさらに深まっていき、ともに活動していければと思います。

お近くにお越しの際はぜひ足を運んでください。

#### 郡山エリア 3 大ニュース

①Bon & Bon Cafe が一つに ②柳神くん祭りでの活躍 ③他府県から千客万来!

#### 西和エリア

0745-43-5541 地域活動支援センターまーぶる 0745-75-6545 生活支援センターぽると・ベル

575 0745-70-1577

### ふらっぴん 1周年! ~まちになじむ活動が広がる~

らそらの新しい仕事、斑鳩町創業支援センタ ーふらっぴん♪の運営管理が始まり、1年が経 ちました。

「入っていいの?」と聞かれる敷居の高そう な名前ですが、地域の方がふらーっと寄れてほ っとできる場、気軽に仕事の情報収集ができる 場所、そしてらそらのメンバーにとってもやり がいのある仕事の場にしたいと、メンバーとと もに試行錯誤しながら、少しずつ取り組みを始 めています。

#### 【町広報の表紙を飾りました!】

気軽に入ってもら いたい、とランチを始 めたり、Twitter を始 めたり。まちになじむ 様子を斑鳩町広報誌 に掲載してもらいま した。



表紙はメンバーの笑顔

#### 【ハロウィンイベントは大盛況】





ハロウィンはみんなで仮装

10月最後の1週間、ハロウィンイベントを 行いました。ゲーム、お菓子、らそらメンバー 自作の動画で、思う存分、近くの子どもたち(だ けでなく、かつての子ども達も!)と交流する 機会になりました。

#### 【シゴトセミナー~斑鳩町女性就業セミナーの開催】

11 月毎週水曜に、シゴトセミナーを開催し ました。起業、就業したい女性の意欲を高める 講義内容に「自分の強みややりたいことが考え られました」「起業なんて考えていなかったけ ど興味がわきました」との声があがりました。

セミナーの終了 後は、講師と受講 者が、らそらのラ ンチを囲んでの 和やかな時間に なっていました。



これからも「このまちになくてはならない」 「ほっとできる」場所になれるよう、町や地域 の方とともに進んでいきたいと思います。ぜひ 気軽に来てくださいね。

#### 西和エリア3大ニュース

①家族連れでにぎわう西和ふれあい祭り!②らそらの時給アップ!400円の仕事ができました ③ふらっぴん♪の活動が広がりました。

グループホーム <楽都 もえぎ館 みらい館 彩友館 メゾン高田 橿ノ木ハウス>グループホーム事務所 0743-85-4112

#### 適正な食事量、塩分量とは?~非常勤職員(家事サポーター)研修~

今回の研修では栄養バランスの取れた献立の考え方等について 学びました。和気藹々とした雰囲気の中、参加者達で自分なりの 調理の工夫を話し合って共有し、普段顔を合わせることの少ない 家事サポーター同士の交流の機会にもなりました。

#### グループホーム3大ニュース

- ①西和7町障害者等支援協議会で初のグループホーム交流会に参加
- ②清水さんが新しく世話人になりました ③橿の木ハウス&メゾン高田で合同一泊旅行へ

	高田エリア	
生活支援センターなっつ	0745-23-7214 地域活動支援センターなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072 おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752 あっとほーむ香芝	0745-44-8023

#### マインドホーム高田 25 周年

#### ~感謝をこめてありがとう~

今年マインドホーム高田は、大和高田の地に 誕生して25周年を迎えました。思い起こせば、 高田駅前ビルの1室から始まり、大和高田市分 庁舎へ、そして現在のゆうゆうセンターへと活 動場所も変わりました。本当に紆余曲折を乗り 越え、今こうして25年を迎えられたのは私た ちだけでなく地域の多くの人たちの助けや支 え、励ましの力があってこそだと改めて実感し ています。今回25周年を迎え、マインドホー ム高田では「感謝を伝えられるような記念にな ることをしよう!」という声がメンバーからあ がり、記念冊子の作成と祝賀会を開催すること になりました。

さっそく取り掛かった記念冊子作りはなかなか大変でした。メンバーが以前、配属されていたスタッフに電話をかけ、事前に考えていた質問に答えてもらい、それを文章にまとめる作業をしました。作成しながら「マインドの事は知らなかったけど、病院の相談員さんに紹介され

- 編集は本人を持っているのでは、 - の数をこので ありがとう。 そして 差別のない社会に 初 マインドホーム高田 25歳年

◆冊子完成!!みんなで記念写真!!

てきた」「マインドで仲間ができた」と話すメンバー。最初の場所は、「夏は暑くて、冬は寒い。狭くてギュウギュウで大変だったよね」思い出話に花を咲かせつつ、笑ったりしんみりしたりしながら完成させることができました。

10月31日にレストラン咲咲を貸し切り、祝賀会を行いました。当日は家族会の方や懐かしいスタッフも参加して、料理を囲みながら、マインドホーム高田の歩んできた道のりに思いをはせる温かい時間になりました。



◆思わず笑顔がこぼれます

これからもたくさんの『ひと』とつながりながら、地域に根を張り、成長し続けていこうと決意を新たにし、またここから歩んでいきたいと思っています。次は30周年!どんな未来が待っているのか楽しみです。



◆これからもよろしくお願いします!!

#### 高田エリア3大ニュース

- ① 祝マインドホーム高田 25 周年 ② オータムズ A・オータムズ B 決勝進出!!
- ③ 人権学習で長島愛生園に行きました。

	橿原エリア	
生活支援センターぴあぽ~と	0744-24-2020 地域活動支援センターぴあぽ~と	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753 ひなた舎	0744-32-7745
Pit八木	0744-21-5666	

## 重層的差別から学ぶ 社会連帯の未来

橿原エリアでは、毎年、差別問題や人権問題等をテーマにした視察研修を実施しています。 今年は長崎市浦上地区で『潜伏キリシタンと部落問題』について学びました。浦上は、被差別

部落であると、 同時に潜伏キリシタンの人たち も住んでいたと いう歴史があり ます。そして、原 子爆弾の爆心地



でもあります。原爆差別も合わせれば、3 重の 差別に苦しんできたと言えます。

戦後、浦上に新しく移り住んだ人たちは、差別感情から浦上の地名を変更してしまいます。 しかし、現在は潜伏キリシタンが世界文化遺産に登録されたことで、古くからの『浦上』という名称が世界的に有名になりました。まさに歴史の皮肉です。

浦上を知ることで、重層的な差別に苦しんできた人たちの想いを学び、私たちはさらなる社会連帯のための実践に邁進していくことを決意しました。

### 大盛況でした!!

#### ~橿原市精神保健福祉普及啓発事業~

12月14日(土)、ぽかぽか暖かい日差しが立ち込める中、今年も奈良県橿原文化会館と会館前広場で開催しました。毎年、橿原市と萌の共催で実施する普及啓発事業。たくさんの地元の方に来て頂きました。

まず、小ホールではオープニングセレモニーから始まり、市福祉課課長の挨拶後、橿原市吹奏楽団の迫力ある素晴らしい演奏で、会場は一気に楽しい雰囲気に!クリスマスソングや流行りの「パプリカ」のリズム感あふれる歌とダンスもあり、一体感に包まれました。

続いて、奈良県立医科大学附属病院の髙橋誠人先生による「認知症だけじゃない!?~じいじとばあばの心のトラブル~」の講演がありました。認知症について丁寧に説明があり、たくさんの学びを得ることができました。

会館前広場では、利用者の出土のが大活躍! キッズコーナにをで、子で、子で、子で、お客さんで



鱼り上がってます!

賑わいました。豚汁の無料炊き出しも開始と同時に行列ができ、即売り切れ!今回も、福祉団体や橿原商工会議所青年部、畝傍高等学校ボランティア研究部、御所実業高等学校、家族会の皆様にご協力いただき、楽しいイベントとなりました!本当に、ありがとうございました!

#### 橿原エリア3大ニュース

①視察研修で長崎へ行きました。②今年も普及啓発事業で、沢山の方々に来ていただき賑わいました。③ひなた舎が10周年でお祝イベントをしました!

### さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ 0743-54-0800

シリーズ さくらんぼの風景

### ヘルパー参上!

生活のしづらさをどう軽減するか、関わり方は一人ひとりのオーダーメイド。『一緒に作業する』『代わりにする』だけでなく「今日はヘルパーが来るから〇〇してみよう」そんなきっかけ作りも大切な役割。自分の生活に関心を持つことで、自身を大切に暮らして頂けるのでは。待っている利用者のことを思って、今日も東奔西走しています。

#### さくらんぼ3大ニュース

①利用者が増えた②事務所レイアウトが変わった③スタッフの顔ぶれが変わった

### 迷い、悩み、不安の声 ~ 萌こころの相談室(電話相談)を実施~

12月2日(月)~6日(金)の障害者週間に「萌こころの相談室」を実施し、5日間で38件の電話相談がありました。

この事業は、「地域社会への貢献」の一環として、日常業務での支援の強みを生かし、精神保健 福祉に関する電話相談を実施するもので、今年で5回目です。

市町村広報誌や駅のポスター、医療機関や図書館でチラシをみたという、10代~70代の人から様々な相談がありました。

高校生や大学生、またはその親からの「不登校や引きこもり」の相談、精神科病院にかかるかどうか迷っているという相談、精神疾患と身体障害が重複している人、家族の中に複数の障害者がいるという人、うつ病で休職し仕事に復帰した人の不安の声等もありました。

電話の向こうの声に真摯に向き合い、傾聴・助言・情報提供を行うことのやりがいと難しさを感じながらも、職員のスキルアップにもつながる事業です。

#### 

### 人の繋がりが法人の強み ~常勤アンケートの結果~

社会福祉法人萌では、長期的かつ生き活きと働きやすい労働環境の構築を目指し、「常勤アンケート」を実施しました。回答者は 70 名で回答率は 89.7%でした。

離職率については、平成 14 年度から平成 30 年度まで平均は 6.3%。直近 3 年の平均で 7% でした。厚生労働省の「平成 30 年度雇用動向調査結果」では、医療・福祉分野で 15.5%でした。『萌で働いていて満足していますか』の問いに対して、「大変満足」が 3%。「満足」が 55.7%。「不満」が 25.7%。「大変不満」は 0%でした。

満足に思っている項目としては、「同僚との関係」「上司のサポート」「メンター制度」「福利厚生」「有給休暇」等がありました。不満に思っている項目は、「給与」「異動」「業務量」「法人のビジョン」「人事評価」「管理職の動き」等がありました。公益財団法人介護労働安定センターの「平成 29年度介護労働実態調査」の「仕事を辞めた理由」の 1 位は「職場の人間関係に問題があったため」であり、法人内の職員間の繋がりや同僚との繋がりの強さが伺えます。

『10年後も働き続けたいと思いますか』の問いに対して「はい」が30%。「いいえ」が10%。「どちらとも言えない」が57.1%でした。

)発行



#### ▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の 活動を支援していただける皆様を募 集しております。

主な目的は萌フェスタをはじめとした 事業の支援や寄付を行なっていま す。

会費の納入及び寄付の受付口座は 郵便振替 社会福祉法人萌後援会 00920 - 4 - 221824 後援会事務局(萌総務部内) 0743-54-0821(大東)

#### ★萌風香の購読★

萌風香は年4回1500部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌の事業所利用 <u>者以外の方</u>で「引越しして住所がかわった(住所変更)」「次からは送ってもらわなく ても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず編集部いだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いします。

#### ▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は10500円(20からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内 0743-54-3977 (桑原)

#### ▽生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。

年会費 一口2000円から。 新規会員募集中!

連絡先: コミュニティスペースはなな内 0743-73-1050 (佐藤)

#### 家族会の情報

詳細は まほろば会 (NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 https://nijiironokaze.jimdo.com/

名称	月例会	時間	場所	問い合わせ先	電話番号
さくら会 (大和郡山市周辺)	第3日曜日	13:30~	三の丸会館	会長関野	0743-54-6375
ひだまり会 (生駒市周辺)	第3土曜日	13:30~	市民活動推進センター ららポート	会長上村京子	0743-78-0885
西和家族会 (西和7町周辺)	第4土曜日	13:30~	王寺町中央公民館	ぽると・ベル	0745-43-5541
すみれ会 (大和高田市周辺)	第3日曜日	13:30~	大和高田市中央公民館	なっつ	0745-23-7214
のぞみ会 (橿原市周辺)	第2日曜日	13:30~	県心身障害者 福祉センター	ぴあぽ〜と	0744-24-2020

### 西谷光子さん緑綬褒章・仲田昭七さん市功労者表彰

西谷光子さん(ひだまりクローバー副会長)が2019年12月17日に緑綬褒章を受章されました。

緑綬褒章は長年にわたり社会奉 仕活動に従事し、顕著な実績を挙 げた方に授与されます。

西谷さんは「ひだまり」の作業所立ち上げ、法 人設立後は評議員、理事として長年にわたり萌に ご尽力いただきました。

現在はひだまりクローバー副会長として、精神 保健福祉分野において様々な活動に取り組まれ ています。



また、法人設立後 12 年に 亘り理事長としてご尽力いただ きました仲田昭七さん(さくら 会家族会)が、精神障害者家族 会役員として長年様々な活動 に取り組まれ、精神保健福祉



施策向上に貢献された功績により、2019年11月3日の大和郡山市表彰式において功労者表彰を受けられました。

お二方の受章、表彰をお祝いするとともに、 萌の活動へのお力添えに心より感謝いたしま す。 (総務部 出口裕生)